

New Directions in Geoarchaeology

ジオアーケオロジーの新しい方向性

日時 2016年9月6日(火 / Tue) 14:00 - 16:00

場所 総合地球環境学研究所 セミナー室3・4

Research Institute for Humanity and Nature, Kyoto, Seminar Room 3 & 4

プログラム

14:00 Reconstructing past human-environment interactions in arid margins: the case study of the Adam region, Sultanate of Oman
(乾燥帯周縁における過去の人類-環境相互作用を復元する：オマーン、アダム地方の事例から)

Tara Beuzen-Waller (フランス、パリソルボンヌ大学)

15:00 Reading the geo-bioarchives of Ephesos: Human-environment interactions in Western Turkey during the last eight millennia
(エフェソスの古地理生物記録を読む：トルコ西部における過去8千年間の人類-環境相互作用)

Friederike Stock (ドイツ、ケルン大学)



8月28日から9月2日にかけて、京都で第8回世界考古学会議 WACが開かれます。WACでは、グローバル社会における考古学の役割など、新しいテーマが論じられる一方で、考古学と自然科学の学際領域を取り扱うセッションも数多く開かれます。今回の地球研セミナーでは、WACに合わせて来日する気鋭の研究者2名に、地球科学の方法を用いて過去の人類-環境相互作用を読み解くジオアーケオロジー (geoarchaeology) の新しい方向性について、具体的な研究事例を交えて講演いただきます。どうぞふるってご参加ください。

問い合わせ：近藤 康久 kondo@chikyuu.ac.jp